

試 験 報 告 書

依 頼 者 株式会社 ピーアンドアール

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検 体 CM-AFS

表 題 かび抵抗性試験

2021 年 09 月 29 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

かび抵抗性試験

1 依頼者

株式会社 ピーアンドアール

2 検体

CM-AFS

3 試験概要

検体のかび抵抗性をJIS Z 2911 : 2018「かび抵抗性試験方法」繊維製品の試験，乾式法により試験した。

4 試験結果

結果を表-1(写真-1参照)に，かび発育状態の判定方法を表-2に，試験条件を表-3に示した。

表-1 試験結果

測定	かび発育状態			
	1週間後	2週間後	3週間後	4週間後
n=1	0	0	0	0
n=2	0	0	0	0
n=3	0	0	0	0

表-2 かび発育状態の判定方法

菌糸の発育	結果の表示
試験片の接種した部分に菌糸の発育が認められない。	0
試験片の接種した部分に認められる菌糸の発育部分の面積は，全面積の1/3を超えない。	1
試験片の接種した部分に認められる菌糸の発育部分の面積は，全面積の1/3を超える。	2

表-3 試験条件

試験片	種類	検体
	大きさ	約5 cm×5 cm
混合孢子懸濁液の調製	試験菌	① <i>Aspergillus niger</i> NBRC 105649 ② <i>Penicillium citrinum</i> NBRC 6352 ③ <i>Chaetomium globosum</i> NBRC 6347 ④ <i>Myrothecium verrucaria</i> NBRC 6113
	試験菌の培養条件	Potato Dextrose Agar (Difco) 温度26 °C±1 °C, 7~10日間(試験菌③は14日間培養)
	0.005 %スルホコハク酸ジオクチルナトリウム溶液を用いて約 $10^4 \sim 10^6$ /mLとなるように調製した単一孢子懸濁液を等量混合	
孢子担体の調製	乾熱滅菌したろ紙(直径約12 mm)を混合孢子懸濁液中に浸し、取り出した後、室温にて乾燥させた。	
試験操作	試験片の中央に孢子担体1個を置き、その上に乾熱滅菌したガラス板(50 mm×50 mm)を載せた。	
試験片の培養	りん酸二水素アンモニウム飽和液を内部容積の約5 %入れたデシケータに入れ、温度26 °C±1 °C, 4週間培養	